

# 音楽療法セミナー②を行いました。

令和4年 12月1日（木） フリー研修

講師：本校教諭 森木 亜季



音楽の持つ力を用いた、本校児童生徒の支援についての知識を得ることを目的として、日本音楽療法学会認定音楽療法士の資格を持った本校教諭 森木亜季により、第2回音楽療法セミナーが行われました。第1回は7月28日に行われ、音楽療法の定義や歴史の話と、音楽療法の手法の体験をしました。そして、本校で今年度より推進している「ひらのキャリアプラン」と関連させ、音楽療法の手法を導入した指導法「HIRANO SMCs」の紹介もありまし

た。今回は、「HIRANO SMCsを使ってみよう♪」というテーマで「HIRANO SMCs」に追加された教材活用の紹介が行われました。

HIRANO SMCs No.11。個別課題（自立活動）の時間に歩行器で歩行の練習をしている児童生徒の足の動きに合わせて好きな音楽を奏でます。一步踏み出すまでの時間が早くなってきたり、止まることが少なくなったりすることが期待できます。



HIRANO SMCs No.12。音楽づくりで活用できる教材です。トーンチャイムの黒鍵だけを使って自由に音を鳴らします。それぞれの音が響き合い、素敵な曲ができあがります。トーンチャイムの他、押すだけで音が鳴るベルなど、児童生徒が使いやすい楽器の紹介もありました。児童生徒がお互いに音を奏でたり、教員と交互に奏でたりして、グループで音楽を作ることができます。児童生徒に指揮者役となり自由に指示を出すことで、合奏のような体験も行うことができます。



HIRANO SMCs No.13。自分の気持ちを表現することを目的とした教材です。伴奏を聴きながら、教員の呼びかけに応じて児童生徒が太鼓やスタンドシンバルを叩きます。太鼓のリズムに合わせて伴奏することで、目と目でコミュニケーションをとることもできます。太鼓だけでなく児童生徒それぞれに合った楽器を選択し、腕を支えるなどして音を鳴らせば、自分の気持ちを表現できたと感じることができます。

3つの教材紹介の後は質疑応答の時間となり、どんな教材が必要か、どんな曲があれば良いかなど、意見交換が行われました。